**総務くらし建設委員会視察報告**

令和6年1月25日、株式会社アイシン(刈谷市)及び豊明市役所(市長をはじめ5人の市職員同行)への視察を行いました。

**オンデマンド型乗り合い交通（チョイソコとよあけ）**

　チョイソコとは「チョイとソコまで、ごいっしょに」をコンセプトに、地域の交通不便を解消し、主に高齢者の外出促進に貢献するデマンド型交通で、民間企業が運営主体となりエリアスポンサーによる協賛を得ることで運営されています。乗車予約等は株式会社アイシンのコールセンターで行われており、豊明市をはじめ、50近い自治体の運行を請負っています。

　視察では乗車体験もしました。乗車料金は１乗車200円で、運転手がモニターで乗降時間、乗客の氏名等の確認を行っていました。交通不便地域内の停留所は、資源ごみ置き場や集会所、公園等約60カ所に設置されていました。豊明市では交通不便地域をカバーするためチョイソコの導入が検討され、既存公共交通との「共存・共栄」を目指し、令和3年から本格運行を開始しました。乗客は会員制で、資格は交通不便地域に住んでいる小学生以上の市民とその他の地域に住んでいる65歳以上の市民です。また、年代別では70歳～90歳代の方が約87％を占め、利用目的は買い物と医療機関の受診が8割を占めています。1日当たりの乗車数は平均40人程度とのことでした。

　長久手市の交通状況は、人口が少なく高齢者の比率が高い東部は路線も本数も少なく、市民の日常の足としては十分ではありません。本市においては、令和6年度に新たにデマンド型交通の実証実験を行う予定です。さらなる高齢化に向けて、高齢者の移動手段の確保は必要で、デマンド型交通の導入は一つの方法です。本市にとってどのような運営形態がよいのか、今後もデマンド型交通について調査・研究を進めていきます。

画像キャプション：チョイソコとよあけ乗り合いタクシー